

2015年3月期 第1四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第1四半期(累計)業績	2014/3期 第1四半期		2015/3期 第1四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	17,737	100.0%	19,924	100.0%	2,187	12.3%
営業利益	1,881	10.6%	2,013	10.1%	132	7.0%
営業外収益	562	3.2%	300	1.5%	△261	△46.5%
うち為替差益	335	1.9%	-	-	△335	-
営業外費用	207	1.2%	216	1.1%	9	4.7%
うち支払利息	123	0.7%	78	0.4%	△44	△36.4%
うち為替差損	-	-	59	0.3%	59	-
経常利益	2,236	12.6%	2,097	10.5%	△139	△6.2%
特別利益	191	1.1%	-	-	△191	-
特別損失	17	0.1%	-	-	△17	-
税金等調整前四半期純利益	2,409	13.6%	2,097	10.5%	△312	△13.0%
法人税等	749	4.2%	877	4.4%	127	17.1%
法人税等調整額	△45	△0.3%	△106	△0.5%	△60	134.0%
少数株主利益	360	2.0%	259	1.3%	△100	△28.0%
四半期純利益	1,344	7.6%	1,066	5.4%	△278	△20.7%
為替レート(1USD/円)	94.05		102.92			
為替レート(1ユーロ/円)	120.73		141.65			

<第1四半期 決算概要(前年同四半期比)>

売上高 +21.8億円 (+12.3%)
 営業利益 +1.3億円 (+7.0%)
 経常利益 △1.3億円 (△6.2%)
 四半期純利益 △2.7億円 (△20.7%)

【売上高】

・海外売上は、自動車関連が堅調に推移し、特に欧米や中国での売上が伸長したことや、北米での一般建設機械の需要が回復してきたこと等により全ての地域で増収となった。

・国内売上は、消費税増税後も自動車関連が底堅く推移したこと、及び非自動車関連の大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受が回復傾向に向かったこと等から増収となった。

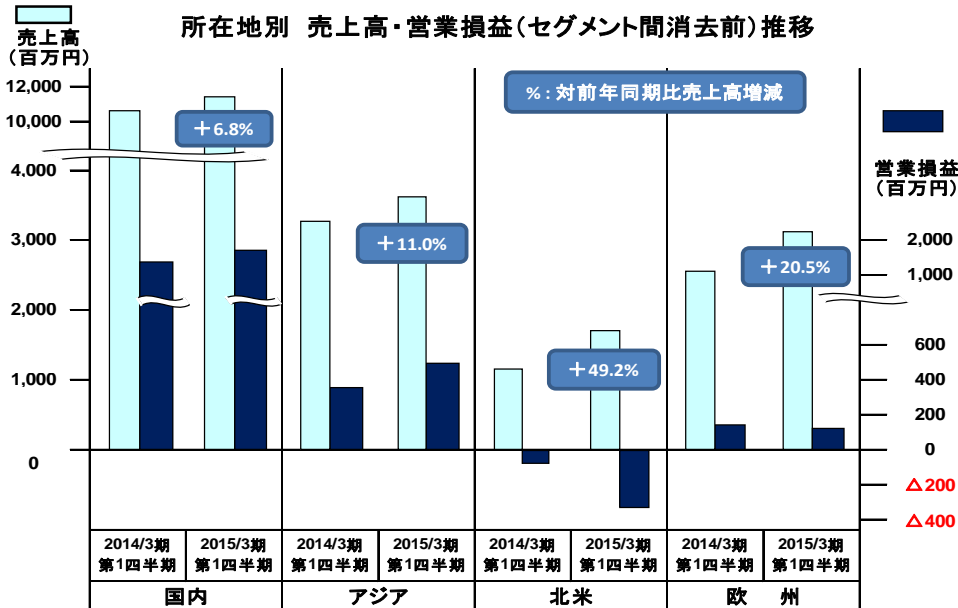
【利益】

・自動車関連の増収や非自動車関連の回復等により、営業利益は増加。経常利益は、前年同四半期においては3億35百万円の為替差益を計上した一方で、当第1四半期では為替差損が59百万円であったことから減益となった。四半期純利益は、前年同四半期においては固定資産売却益を1億91百万円計上したこと等により減益となった。

業績推移	2014/3期			2015/3期		
	第1四半期	第2四半期	通期	第1四半期	第2四半期(予想)	通期(予想)
売上高	17,737	36,867	77,350	19,924	39,000	80,000
営業利益 (営業利益率)	1,881 (10.6%)	3,795 (10.3%)	7,368 (9.5%)	2,013 (10.1%)	3,800 (9.7%)	7,800 (9.8%)
経常利益	2,236	4,139	8,063	2,097	4,150	8,100
純利益	1,344	2,277	4,735	1,066	2,300	4,800
為替レート(1USD/円)	94.05	98.59	105.39	102.92	101.36	想定 103.00
為替レート(1ユーロ/円)	120.73	128.53	145.05	141.65	138.31	想定 138.00

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2014/3期 第1四半期	構成比	2015/3期 第1四半期	構成比	前年同期比 増減額	同 増減率
自動車用エンジン軸受	11,518	64.9%	13,031	65.4%	1,512	13.1%
自動車用エンジン以外軸受	3,389	19.1%	4,000	20.1%	611	18.1%
非自動車用軸受(※)	2,672	15.1%	2,682	13.5%	9	0.4%
その他(※)	157	0.9%	210	1.0%	53	33.7%
合計	17,737	100.0%	19,924	100.0%	2,187	12.3%

※ 2013年7月1日付の組織変更により、「非自動車用軸受」に含めていた金属系無潤滑軸受事業を「その他」に変更しております。



<所在地別(前年同四半期比)>

◇ 国内

・消費税増税後の反動減等が懸念されていた自動車関連売上が堅調に推移したことや、大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受の売上が徐々に回復に向かったことなどにより国内売上は前年実績を上回った。

・営業損益は、自動車関連での増収効果等により増益。

◇ 海外(12月決算につき1~3月の累計)

【アジア】

政情不安が続くタイでの売上は堅調に推移し、中国、韓国では売上が伸長。営業損益は増収効果等で増益。

【北米】自動車関連売上は増加し、一般建設機械も回復傾向にて推移。営業損益のマイナス幅拡大は、メキシコ新工場に係る先行費用の計上等によるもの。

【欧州】域内需要の回復傾向や新規客先への納入開始等により自動車関連は堅調に推移。営業損益は、船用売上(中小型船舶向け)が低調であったこと等により若干減益。

主要財務指標	2013/3末	2013/6末	2014/3末	2014/6末	2014/3末比
売上高営業利益率	8.9%	10.6%	9.5%	10.1%	+0.6P
自己資本当期純利益率(ROE)*	14.2%	15.6%	13.1%	11.0%	△2.1P
自己資本比率	36.3%	35.1%	37.3%	36.8%	△0.6P
純有利子負債(有利子負債-現金)	17,159	17,515	15,844	15,807	△36

* ROEは、四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2012/3期 通期	2013/3期 通期	2014/3期 通期	2014/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	前年同期比 増減額
設備投資	5,596	10,040	10,838	1,395	1,933	+537
減価償却費	4,566	4,838	5,027	1,148	1,319	+171

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。